

# 愛誓って 幸せの木

「恋人の聖地」に認定されている美作市江見、バレンタインパーク作東内に、カップルがプレートに願いを書き込んでつるすステンレス製の「幸せの木」が作られた。15日に同市と国際姉妹都市縁組を結ぶセント・バレンタイン市（フランス）の市長らが訪れ、落成式が開かれる。

（難波孝光）



恋人の聖地に完成した「幸せの木」

## 美作バレンタインパーク作東

セ市に「幸せの木」があることから、同パークや作東バレンタインホテル（美作市江見）を運営するバレンタインパーク作東振興公社が計画。同ホテルの結婚式に使われるトワホール横に約200万円かけて作った。

石の台に載せた木は高さ3・8メートル、幅3・5メートル。セ市のものと似たデザインで柳のような形。ハート形のプレートを葉に見立て、恋が成就し、同ホテルで結婚式を挙げたカップルにそれぞれの思いを書いて掛けてもらう。

15日には美作市の安東美孝

## 15日落成式 “葉”に願い書きつるす

市長とセ市のエール・ルソール市長が落成式に出席し、完成を祝う。同公社は「木を大いに利用してもらい、恋人の聖地を盛り上げた」としている。

美作市では、愛をテーマに町づくりを進めていた旧作東町が1988年、同様の取り組みを進めるセ市と縁組を締結して交流。2007年には、同パークが静岡市のNPO法人から恋人の聖地にも選ばれた。パーク内のホテルでは年間80組が結婚式を挙げるとい